

(3) ライフサイクルコストの低減
Ⅲ②施設の省資源・省エネルギー化

本荘地方合同庁舎をグリーン庁舎として整備することで、地球環境負荷を低減

東北地方整備局 営繕部 本荘地方合同庁舎の整備

【施策の概要】

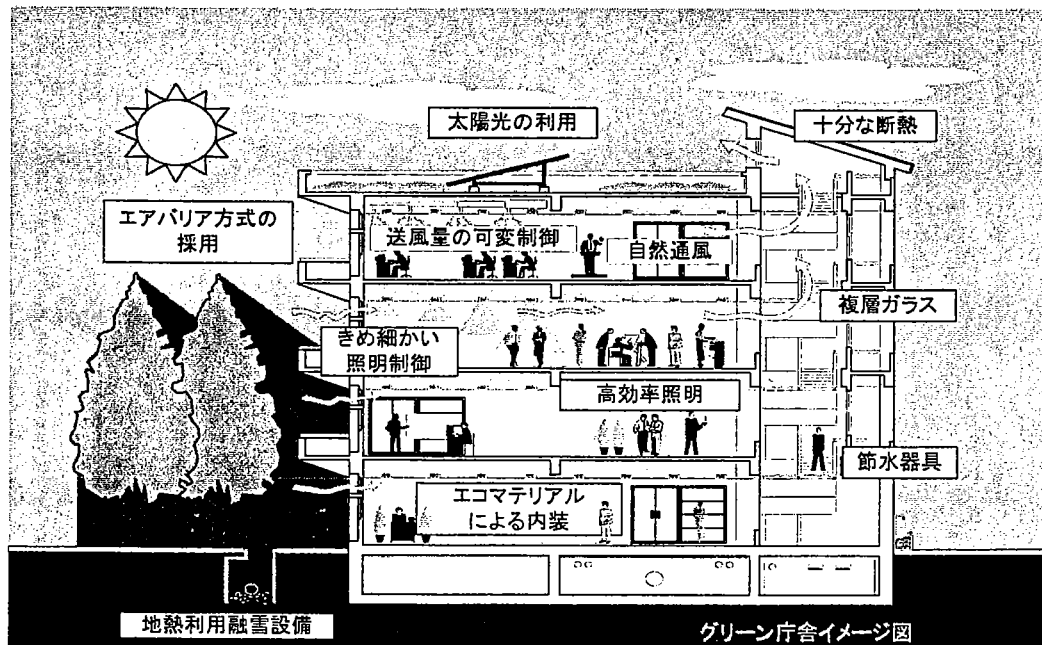
本荘地方合同庁舎の建築に際して、環境に配慮した官庁施設であるグリーン庁舎として、エアバリア方式による空調システム、太陽光発電、高効率照明器具及び照明制御システム、地熱を利用したヒートパイプ式融雪設備等の採用により地球環境負荷低減技術を採用しています。

【施策のポイント】

- ・ エアバリア方式の採用により、窓のガラス面を通じた内部への熱の進入を防ぐことにより空調を効率的に行うことを可能としました。
- ・ 駐車場の電熱式融雪設備にヒートパイプを組み合わせることで、地熱による融雪を行い、融雪に使用するエネルギーの合理化を図りました。
- ・ 太陽光発電設備、高効率照明器具、送風量・送水量の可変制御やポンプの台数制御等の高効率空調システム及び節水器具の採用により、自然エネルギーの有効活用、施設のエネ使用量の合理化及び省資源化を図りました。
- ・ これらの施策により、建物のライフサイクルを通じた二酸化炭素の発生量を約20%削減します。

【施策の実施状況・イメージ図】

グリーン庁舎のイメージ図（実際の本荘地方合同と階数・断面等は一致しない）



上記に加え、

北陸地方整備局 小松地方合同庁舎

沖縄総合事務局 那覇第2地方合同庁舎 の計3件をグリーン庁舎として整備中です。